Japan International
Association of
Lighting Designers

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会
第3期［2016年9月～2017年8月］

www.ialdjapan.jp

Japan International
Association of
Lighting Designers

IALD Japan Annual Report

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会［アニュアルレポート］

Vol.03

Japan International
Association of
Lighting Designers

IALD Japan Annual Report

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会［アニュアルレポート］

Vol.03

第3期［2016年9月～2017年8月］

IALD Japan Annual Report Vol.03

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会［アニュアルレポート］

第3期［2016年9月～2017年8月］

I N D E X

Chapter 01 活動報告

1-1	代表理事挨拶		04
1-2	定時総会		05
1-3	Workshop［研修会］	光を伝えるための最前線技術 地方創生、復興に関する都市照明に関わる仕事	06
1-4	書籍監修協力	『時代をつくるデザイナーになりたい!! 照明デザイナー』	07
1-5	Event Report	ENLIGHTEN ASIA IN JAPAN 2017	08
1-6	アンケート		22

Chapter 02 組織運営

2-1	委員会の概要		24
2-2	会員紹介		26
2-3	世界のIALDメンバー		28
2-4	入会案内		30
2-5	第4期に向けて		31

Chapter 01

活動報告

1-1｜代表理事挨拶

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会が発足して3年となりました。当協会はアメリカ合衆国のシカゴに本部を置く、国際照明デザイナーズ協会（International Association of Lighting Designers）に会員として認められた、正に照明デザイナーとしてプロフェッショナルといえる、日本の会員によって構成されています。
当協会の会員数は現在85名で、アメリカ合衆国の会員数に次いで、世界で2番目となります。これは日本における照明デザインが広く認められて、大勢のプロフェッショナルが、我が国で活躍している証ともいえましょう。
85名の会員のうち20名が理事ということも当協会の特長で、幅広い年齢の会員が理事となって、活気に満ちた運営を行っています。会員相互のレベルアップのための研究会はもとより、学生を対象としたイベント等、充実した活動を展開しています。
なかでも2017年3月に開催した＜Enlighten Asia in Japan 2017＞は成功を収め、＜LIGHTING FAIR 2017＞では、企画から運営までを主催団体と多岐にわたる協力を行って、集客に寄与したことは、ほぼすべての会員が参加した成果といえましょう。
光の重要性が広く認識される今日、当協会の活動がより充実し、照明分野の発展に貢献していくことを、心より願っています。

石井 幹子［一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会 代表理事］

1-2｜定時総会

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会（IALD Japan）では、2016年10月28日に定時総会を開催し、第2期の活動報告および決算報告を行い、参加会員の承認を得ました。また第3期の予算計画と主な活動計画を説明しました。2017年3月に開催するEnlighten Asia in Japan 2017+ LIGHTING FAIR 2017については、セミナーやイベント担当者から魅力的な計画内容が紹介され、それぞれのアイディアに対して活発な意見交換がなされました。
2017年1月27日に開催した臨時総会では、「光の表現の最前線」をテーマとした研修会を同時に催しました。多くの会員が参加し、日頃から興味あるテーマを熱心に聴講、ディスカッションしました。総会では、間近に迫ったLIGHTING FAIR 2017での多くの企画イベントの詳細について協議しました。とくに東京ビッグサイトの会場を飛び出した新しいツアー企画、規模・内容ともに大きく変貌予定のパーティについてはさまざまな意見が飛び交い、協議が深められました。
5月19日には2回目の臨時総会を開催。「地方創生・『あかり』によるまちの活性化」をテーマにした研修会を総会前に催し、総会ではLIGHTING FAIR 2017およびEnlighten Asia in Japan 2017を振り返って、各担当者からの反省点や次回への申し送りが報告されました。また事前に全会員に対して実施したアンケートの集計報告も披露し、総会出席がかなわなかった多くの会員の意見についても出席者の間で読み合わせ、次のイベントへの多くの改善点を確認することとなり、有意義な総会となりました。

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会
第3期 総会スケジュール

2016年10月28日（金）	第3期／定時総会	場所：東京デザインセンター 8階 会議室
2017年1月27日（金）	第3期／第1回 臨時総会	場所：東京デザインセンター 8階 会議室
2017年5月19日（金）	第3期／第2回 臨時総会	場所：東京デザインセンター 8階 会議室

定時総会 2016年10月28日（金）

第1回 臨時総会 2017年1月27日（金）

1-3 | Workshop［研修会］

光を伝えるための最前線技術

講師 | 坂尾 栄一（コーエーテクモウェーブ／アートディレクター）、内藤 卓也（ジュリアジャパン／取締役社長）

Information

［開催日］2017年1月27日（金）
［会場］東京デザインセンター 8階会議室
［参加人数］協会会員：60名
［主催］一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会
［企画］研修委員会 セミナー研修部会

［企画主旨と概要］

異なるジャンルの光のプロフェッショナルを講師とした、光を伝える新技術に関するレクチャー。ゲームコンテンツにおける光の表現、照明とも親和性の高いプロジェクション・マッピング、普段の業務では接する機会の少ない光の技術を通じ、会員の知見の拡張を目的とします。

［レポート］

照明以外の分野の光の技術に触れることで、照明による表現技術の開発が、これまで以上に進むことが期待されました。ゲームコンテンツの世界においては、空中に浮く光など、現実では存在し得ない光が登場し、光がプレイヤーを誘導するなど、光が果たす役割は絶大です。プロジェクション・マッピングは、肌の感覚でつくり込むことが多いといいます。照射面の照度に関しても規格となる数値はないとのこと。いずれもデジタル表現が中心でしたが、若い世代はもとより、ベテランの方々がより興味を持って傾聴していたことが深く印象に残っています。

地方創生、復興に関する都市照明に関わる仕事

講演者 | 角舘 まさひで、長町 志穂

Information

［開催日］2017年5月19日（金）
［会場］東京デザインセンター 8階会議室
［参加人数］協会会員：60名
［主催］一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会
［企画］研修委員会 セミナー研修部会

［企画主旨と概要］

「あかり」を原動力とした、まちの活性化をうながす手法およびプロジェクトの紹介。大がかりな街灯の設置や、トップダウンの施策ではなく、ヒューマンスケールに寄り添うあかりの計画として、住民や行政へのアプローチの方法や、ライティングデザインの可能性を提示します。

［レポート］

まちづくりのポイントとして、安心安全や省エネ、インフラ空間の一体化、客観的データの必要性を説き、これまでに手がけた事例を解説しました。横浜元町仲通や上州富岡駅周辺、大阪・八尾の街路、気仙沼の漁港の各地で実施した照明実験、実際の整備を行ったまちの写真を披露。釜石市の例では、高台への避難誘導のための環境整備を示しました。照明や都市計画、建築設計関係者に向けて、従来型の照明規範を突破した、個性的な照明デザインの可能性を示すことができました。今後、新たなビジネスモデルとしての照明デザインを提案していきます。

1-4 | 書籍監修協力

『時代をつくるデザイナーになりたい!! 照明デザイナー』

子ども向け図書『時代をつくるデザイナーになりたい!! 照明デザイナー』が、当協会の監修と会員の協力によって発刊されました。本書は、未来への夢を描く小学生を対象にデザイナーの仕事を紹介するもので、学校図書を中心に全国で愛読されるシリーズです。ファッションデザイナー、グラフィックデザイナー、フラワーデザイナーに続いて4刊目として取り上げられたのが照明デザイナー。建築照明のデザインがわかりやすくまとめられています。また、「住まい」「商業」「美術館・博物館」「ライトアップ」のカテゴリーごとに、会員4名それぞれが働く姿や大切にしていることが、写真やインタビューで構成されており、読み応えのある内容になっています。

Information

『時代をつくるデザイナーになりたい!! 照明デザイナー』

取材協力（書籍内記載に準じる）：
一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会
- 「住まいの照明」 村角 リーダー 千亜希
- 「屋内空間・商業施設」 田中 圭吾
- 「美術館・博物館などの建築照明」 澤田 隆一
- 「ライトアップ夜景の演出」 角舘 まさひで

発行所：六耀社
価格：¥2,808（会員特別価格 税込¥2,387）

※協会事務局にて初版をまとめて購入しており、現在、特別価格でお譲りできます。
詳しくは事務局（info@ialdjapan.jp）まで

IALD JAPAN

コレカライト Post-2020 ― あしたが変わる、あかりが変える。

LIGHTING FAIR 2017

ENLIGHTEN ASIA IN JAPAN 2017

エンライテン・アジア・イン・ジャパン 2017

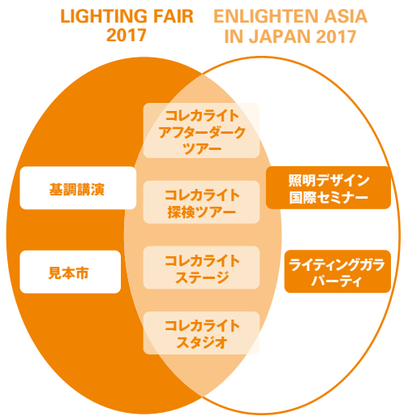
Information 開催日：2017年3月7日（火）～10日（金） 会場：東京ビッグサイト

2013年に初めてアジアで開催したEnlighten Asia in Japanは、日本から世界に向けて発信する、照明デザイナーによる国際セミナーとして実施し、大好評を博しました。2回目となった2015年には、LEDの進化に伴う照明制御技術の発展を具現化した、照明デザイナーの発想や表現が多彩なセミナーやプログラムを発表。多くの来場者に照明デザインの豊富な実績と、これからの照明業界が躍進する展望を示すこととなりました。2017年は一般社団法人 日本照明工業会と日本経済新聞社の主催するプログラムに、一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会が企画構成の重要な役割を担い、過去最大となる50を超えるセミナーやイベントを催し、日本の優れた照明のハードウェアと魅力的な空間演出を施す照明デザイナーのコラボレーションが、東京ビッグサイトの会場に留まらない新たな試みで実現しました。また、当協会が共催した照明デザイン国際セミナーEnlighten Asia＋LIGHTING FAIRでは、最新の多様なニーズに応えるべく“What’s NEXT？”をテーマに、バリエーションに富んだ深みのあるコンテンツを発信。7万人を超える来場者があり、大きな反響を得ることとなりました。

コードシェア方式について

今年で3回目となるEnlighten Asia in Japan 2017は、これまでの2回の開催（2013年および2015年）が好評であったことを受けて、さらに一歩進んだイベントへの取り組み方を考案しました。一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会（IALD Japan）は、第1回開催時から、LIGHTING FAIRと連携してきましたが、今回は共催する一般社団法人 日本照明工業会および日本経済新聞社との絶妙な距離感を保ちながら、より緊密なコミュニケーションを取り、LIGHTING FAIRと一体になって照明のイベントを大いに盛り上げようと考えました。

IALD Japanの役割は、LIGHTING FAIRのほとんどのイベントを企画構成し、クオリティの高いセミナーやイベントのアイディアを提供すること。また、照明デザイン国際セミナーは日本照明工業会および日本経済新聞社との共催でしたが、手慣れた日経チームに煩雑な運用を任せてスムーズな進行を心がけることでした。いわば、ひとつの航空便がふたつの便名を持つコードシェアのような取り組みに見えることが最大の特徴でした。これは、IALD Japanに所属する照明デザイナーの労力を削減しながら、セミナーやイベントの質を上げるために編み出したフォーメーションです。企画構成にかかった期間は約1年。企画構成を担当したIALD Japanメンバーの多大なる労力に心から謝意を表します。



ENLIGHTEN ASIA
照明デザイン国際セミナー ENLIGHTEN ASIA+LIGHTING FAIR
IALD JAPAN

照明デザイン国際セミナーは、IALD Japanの立案で、日本照明工業会および日本経済新聞社と共同で催しました。海外で活躍する照明デザイナーをはじめ、医療やIT関連、食や地方創生、ホテル・商業施設デザインなど、多岐にわたる分野のスペシャリストを招き、照明デザインの歴史から、現在、未来における照明デザインの在り方を示唆する内容の、数々のレクチャーを実施しました。

Information
会場：東京ビッグサイト 会議棟1階 101・102会議室
主催：一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会、一般社団法人 日本照明工業会、日本経済新聞社

Seminar EL01 夜の品質／闇が必要なわけ

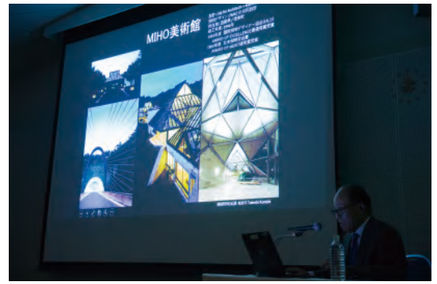
マーク・メイヤー［スピアーズ+メイヤー プリンシパル ライティングデザイナー、アーキテクト］
Moderator：**面出 薫**［ライティング プランナーズ アソシエーツ］

世界的に著名な建築照明デザイナー、マーク・メイヤー氏が現代の照明デザインの在り方を語るセミナー。街中に無秩序に増加する光に対して警鐘を鳴らしながら、一日の半分を占める夜の魅力と、その品質を高めるために必要な光と闇のバランスについて考えを開陳しました。その内容構成は、技術革新によって照明を進化させ続ける日本人の聴衆を相手としては説くにふさわしいものでした。印象に残ったのは、メイヤー氏がデザイナーとしての自身の作品を紹介する前に、夜のあるべき姿について哲学を明快に解説したことです。照明デザイナーがさまざまな技術をもって、効果的に光を操ることも大切ですが、それ以前に哲学によって支えられている、という主張は、多くのデザイナーにとって刺激になったに違いありません。

Seminar EL02 Architectural Lighting Designの起源 — エジソン・プライスの偉業

小西 武志［ALG（建築照明計画）］
Moderator：**面出 薫**［ライティング プランナーズ アソシエーツ］

建築照明デザイナーという職能が米国の東海岸に登場したのは、1950年。当時から活躍していたエジソン・プライス氏は、ウォールウォッシャーなど、従来の照明器具とは一線を画す革新的な器具を開発してきました。それら偉業の紹介に加え、建築照明デザインの本質的な使命が語られました。講師の小西氏は、これまでにプライス氏と数々の出会いがあり、その逸話には興味がそそられました。また、40年にわたる照明業界における世界的要人とのやり取りが披露され、その内容に圧倒されました。コロンビア大学研究員時代にプライス氏とめぐり会った建築家の隈研吾氏から届いたビデオレターも貴重でした。総じて、照明デザインという職能がますます役割を拡大させていくための原点となるセミナーとなりました。



Seminar EL03 子どもの医学とあかり

本田 真美［みくりキッズくりにっく院長、医学博士、小児科専門医、小児神経専門医］
Moderator：**村角 リーダー 千亜希**［スバンコール］

「こどもの視覚・認知発達とあかりの関係」について、医学的なデータの分析や配慮すべきポイントなどを説くセミナー。たとえば、神経発達症のひとつADHDの症状を示す子どもは、日常生活がON／OFF（活動／睡眠）で成立しており、寛ぎのシーンを嫌う傾向にあると言われます。照明もそれに準じてON／OFFで十分という説があるものの、本来休めるべき身体のリカバリーができていない可能性も否めません。その点を考慮して治療にあたる必要があると同時に、照明デザイナーによるあかりの提案も治療の一環となることを提示しました。本テーマは、医療や教育関係者、障害者の家族にとっても関心が高いと思われ、今後は、幅広い分野に向けてセミナーを告知し、あかりの重要性を広めていきたいと思います。

Seminar EL04 光の建築を読み解く

吉澤 望［東京理科大学理工学部建築学科 教授］
Moderator：**野澤 寿江**［近田玲子デザイン事務所］

「光の建築」といわれる建築空間はなぜ私たちを魅了するのか？　これまで漠然ととらえられてきた国内外の名作建築の光の現象について、実測に基づいた解析データを光環境のエキスパートとともに読み解きました。これまで自然光は建築工学、人工光は照明と、それぞれ別の領域として扱われてきました。今回、建築環境工学分野の光の研究者のわかりやすい解説を聞き、照明デザイナーも自然光を操ることができると感じられました。近年は、シミュレーション技術が進歩して、空間の明るさや輝度も3次元空間に展開可能となり、それと空間の居心地のよさや美しさなど、感覚的な部分を結びつけ、自然光も含めた「光の空間」づくりができるようになりつつあり、その足がかりとなる有用なセミナーであったと思います。

LIGHTING FAIR 2017 開催記念講演会

「スポーツの力・あかりの力～TOKYO2020とこれからの日本に必要なもの」

川淵 三郎［首都大学東京 理事長］ 石井 幹子［石井幹子デザイン事務所］
Moderator：篠山 正幸［日本経済新聞社 編集委員］

Information
会場：東京ビッグサイト会議棟 国際会議場
主催：一般社団法人 日本照明工業会、日本経済新聞社

2020年のオリンピック・パラリンピック開催を視野に、元オリンピック選手であり、スポーツ振興に尽力する川淵三郎氏、照明デザイナーとして世界を舞台に活躍する石井幹子氏が、それぞれの立場で講演を行いました。
川淵氏は、近年の日本の子どもたちの体力の低下を危惧し、スポーツを通して興味や関心をうながし、身体成育のきっかけとなってほしいと語りました。また、観覧する立場に配慮したアリーナや体育館の建設を切望する心情を吐露。「スポーツには劇場空間が必要。とくにナイター試合は雰囲気も盛り上がる。それには照明の役割が大きいですね」と川淵氏。
石井氏は、これまでに手がけたライトアップの作品を映しながら「あかりの力」について解説しました。たとえば、白川郷では満月の光を再現したことにより、大勢の観光客が訪れるようになったといいます。また、「あかりの未来」について、豊かな時を過ごすには、五感に響くもの、とくに視覚を支配する光が大事になると主張。「あかりは無限の美と力を持つと信じています」と語りました。
その後の対談では、質の高いあかりの必要性を論じ合いました。石井氏は、「あかりの力を広げるためにも照明業界がやるべきことはたくさんある」、と普及活動への積極的な参加を聴者に向けて訴えて締めくくりました。

Seminar EL05

暗所視夜景：不要な複雑さから解放されたシンプルさ

アタナシオス・ダニロフ［スタジオ アタナシオス ダニロフ 建築照明デザイナー］
アレクサンドラ・ストラティミロビッチ［ライトアーティスト］
Moderator：岩井 達弥［岩井達弥光景デザイン］

人間は、本来暗順応や対比といった光に対する繊細な感覚を持っています。それらを大切にしながら、文化的な背景や周辺環境に配慮し、芸術的な表現で具現化した照明デザインの事例を紹介しました。現代の照明は、複雑で多くの光を使用しますが、逆に少ない光による、質感のあるプロジェクトが聴衆の興味をひきました。それを実体験するような、会場にちりばめられた蓄光石が、わずかな光で美しい光景をつくるパフォーマンスには感嘆の声が上がりました。地球温暖化の抑止、CO_2削減の観点から省エネルギーが叫ばれ、LEDに代表されるハード面では、省エネは達成されつつあります。その反面、高い照度設定をはじめ、不要な範囲や時間帯に照明が点灯されています。その現実を見直すきっかけとなってほしいと願います。

Seminar EL06

照度から輝度へ ～空間の明るさ感による評価～

平手 小太郎［東京大学大学院工学系研究科 教授（建築学専攻）］
Moderator：澤田 隆一［サワダライティングデザイン&アナリシス］

明るさ感の評価システムは確立されつつあり、デザインに応用することで、経験が少なくても一定レベルの良好な照明環境をつくれるようになりました。そこに期待と一抹の疑念を抱きながらも、本セミナーでは最新事情を把握することを目的としました。聴講者のメインは学術関係者になると予想していましたが、デザインや設計関係者も大勢いたことは意外でした。また、学術的な話題のため、講師の説明が理解しづらい点もあるのではないかと懸念されましたが、聴講者は真剣な態度で耳を傾けていました。明るさ感の評価は、今後ますます進展が期待される研究分野です。照明デザインの関係者は、引き続きこのような研究に着目し、評価システム自体の実用性を探究しながら見守ってほしいと希求します。

Seminar EL07

照明デザインにおけるエモーショナルなデザインとその役割

セルゲイ・シジー［ライティングデザインスクール LiDS 理事長］
Moderator：岩井 達弥［岩井達弥光景デザイン］

空間の光が変わると、空間の印象も大きく変化するのは誰もが知ることです。照明デザイナーは、光の内容と意味を熟知し、空間における光の配置や量、色温度や色彩、時間的な変化などを把握して、意図する光の印象をつくり出すことが重要となります。本セミナーでは、これまでわずかな情報しかなかった、ロシアにおける照明デザインについて知る機会をつくりました。数々のプロジェクトで色彩が多用されていることは意外でしたが、光が空間の印象を左右し、人びとのエモーショナルな部分に影響を与えるという話は、私たちの基本的な考え方と一致していました。光は人の情緒面に作用します。それは万国共通。その認識から、光の状態とエモーションの関係性について、詳しい研究が必要であると感じました。

Seminar EL08

物販照明の最前線

垂水 茂喜［RAYDESIGN INC.］
岡安 泉［岡安泉照明設計事務所］
梶原 章［GARDE USP 執行役員 兼 ニュービジネス事業部 ラージ開発事業部 事業部長］
Moderator：内木 宏志［ナイキデザイン事務所］

物販店を中心とした商業建築の変貌や、テナント・パブリック空間での照明の最前線を、さまざまな角度から検証していきました。商業施設のなかでも物販店は、時代や世代に相応した空間装飾としての照明演出も多く、光源はLEDが主流となっています。それらを踏まえつつ、現在と過去、そして未来の照明デザインを考察することとなりました。店舗やブランドのコンセプト・企画、建築デザインなど、物販店の現在の状況について、コンサルティングやデザイン、照明の分野で活躍する講師の方々が語る専門的な視点には大いに感心させられました。このようなセミナーへの参加で、時代やトレンドといった背景をはじめ、テクニカルと装飾など、多様な観点から照明デザインの可能性を探ってもらいたいと思いました。

1-5 | Event Report ENLIGHTEN ASIA IN JAPAN 2017

Seminar EL09 業界の外からみる 照明の今後の課題と展望 ～新しい事業のカタチを模索する～

谷澤 俊彦［リブ・コンサルティング シニアコンサルタント］
Moderator：中島 龍興［中島龍興照明デザイン研究所］

照明業界は、照明のLED化が一段落すると、新たな商材や事業展開を模索しなければなりません。そしてこの先に予測される外部環境の変化に対応するには、第三者的な分析と提案が必要となります。それは照明業界の進むべき方向性の大きなヒントとなるでしょう。そこで、本セミナーでは、照明業界外の経営コンサルタントを講師に招き、照明事業に関する情報収集や分析について語ってもらいました。従来光源とは大きく異なるLEDを新事業として展開するためには、業界内だけに留まることなく、業界外との関係を強化し、産官学の連携をより積極的に進めなければならないとのこと。照明デザイナーで、経営に携わる方にとって、共感する点、そして役立つ内容が多々あったのではないかと思われます。

Seminar EL10 最近のホテルデザイン動向

樽本 和正［東急不動産 ウェルネス事業ユニット ホテル・リゾート事業本部 主任］
丹野 太郎［ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル シニアアドバイザー］
Moderator：金田 篤士［ワークテクト］

1964年に開催された東京オリンピックを機に始まった、日本での近代ホテルプロジェクトブーム。そして現在は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックをターゲットに、第6期ホテルブームが押し寄せています。ホテルのデザインは時代背景によって方向性が異なり、照明デザインの考え方も変動しています。また、照明に関する技術の進歩も顕著です。そうした現状を分析しながら、ホテル建設を事業として推進している樽本氏と丹野氏から、未来のホテルデザインの方向性を聞きました。ホテルは、経済状況と連動してデザインが変化するマーケットであるといいます。それを踏まえ、照明デザイナーや照明メーカーにとって大きなマーケットでもあるホテルプロジェクトにぜひ参画してほしいと願います。

Seminar EL11 映像と光のデザイン

友末 治［空間映像デザイン事務所 OSAMU-STYLE クリエイティブ・ディレクター］
Moderator：田中 謙太郎［ライティング プランナーズ アソシエーツ］

街行く人びとにさまざまなメッセージを伝えるファサードライティングは、ほとんどがLEDを光源として計画されており、演出コンテンツは映像となるため、あらゆる表現が可能になっています。このセミナーでは、空間映像制作のスペシャリストに、制作側のスタンスと、今後のファサードライティングについて語ってもらいました。LEDによるファサード演出は、映像コンテンツの制作者だけではなく、建築設計者、照明コンサルタントらとのイメージ共有がもっとも大切な要素であると痛感する内容でした。これから先の、LEDを用いたファサードライティングでは、専門的な知識を持つ映像制作者とともにコンテンツをつくり上げることで、よりエフェクティブな演出となるに違いないと感じました。

コレカライト Post-2020 ― あしたが変わる、あかりが変える。
LIGHTING FAIR 2017
特別企画 コレカライトフェスティバル カラFes2017

LIGHTING FAIR 2017では、多種多様なイベントが催されました。それらを主導したのは、一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会、そして共催の一般社団法人 日本照明工業会と日本経済新聞社でした。各団体で役割を分担し、オペレーションは日本経済新聞社に委ね、イベントそのものの企画構成はIALD Japanが担いました。未来をサジェストする「コレカライト」を冠し、コレカライトスタジオ、コレカライト探検ツアー、コレカライトステージ、そしてコレカライトアフターダークツアー、大きく4つの柱を立て、それぞれに会員が関わって、イベントの活性化をバックアップしました。

Information
■ 会場：東京ビッグサイト 西ホールアトリウム、西1・2ホール　■ 主催：一般社団法人 日本照明工業会、日本経済新聞社
■ 企画構成：ライティング・フェア2017企画委員会（アイリスオーヤマ、岩崎電気、NECライティング、遠藤照明、コイズミ照明、コイト電工、GSユアサ、スタンレー電気、星和電機、大光電機、DNライティング、東芝ライテック、パナソニック、日立アプライアンス、プリンス電機、三菱電機照明）、
一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会

コレカライトスタジオ & コレカライト探検ツアー
会場：東京ビッグサイト 西1・2ホール

LIGHTING FAIR 2017の会場のうち、西2ホール一画には、ラジオブースを模した「コレカライトスタジオ」が設営されました。ここでくり広げられたのは、IALD Japanに所属する照明デザイナーと照明器具メーカーによるライブトークです。その内容は、将来有望なレーザー照明やトリビア的なトピックなど、多岐にわたりました。スピーカーもリラックスした口調で場を大いに盛り上げました。また、照明デザイナーをナビゲーターにLIGHTING FAIRの会場をめぐる「コレカライト探検ツアー」では、参加者が新しい技術や商品の説明に真剣に耳を傾けました。

1

2

6

7

8

9

10

11

#1～5 コレカライトスタジオ　#6～11 コレカライト探検ツアー

3

4

5

Seminar EL12 見る事・味わう事の意識、無意識

片 幸子［料理研究家］
Moderator : 武石 正宣［ICE都市環境照明研究所］

当たり前にありながらも、空間の見え方に大いに影響を与える「光」。同様に、身近な「食」にも見せ方・味わい方があります。そこで、両者を対比しながら、人にとって意識する、あるいは無意識になりがちな共通項について議論しました。照明デザイナーという職業は一般社会ではマイノリティですが、食の研究家は認知度が高いです。ところが、互いのモノを見る立場は意外と似ていることが、ディスカッションを通してわかりました。それを受け、多方面での知識を積み上げ、感覚を磨き、少しでも物事を総合的、立体的にとらえられるようになることが必要だと感じました。「料理の“さしすせそ”に対し、照明の“さしすせそ”とは？」。会場からの質問に自問自答しつつ、照明の汎用性について今後も思考をめぐらせていきます。

1

2

3

4

#1～4 コレカライトアフターダークツアー　#5 コレカライトステージ

コレカライトステージ＆コレカライトアフターダークツアー

会場: 東京ビッグサイト 西アトリウム［コレカライトステージ］
都内各所［コレカライトアフターダークツアー］

LIGHTING FAIR 2017のレセプションとして中核をなすアトリウムに設けられたのは「コレカライトステージ」。照明にまつわる文化や暮らし、経済、未来をテーマにトークセッションが行われました。来場者にとって身近なあかりの話から、エネルギー問題や演色性のことなど、照明デザインをする上で必要とされる専門知識まで、IALD Japanの会員をはじめ識者やゲストが熱く語りました。ふたつの展示会場にはさまれていることから人の往来も絶えず、移動の途中に立ち止まって熱心に聞く来場者の姿も見受けられました。
夜の街あかりについて、IALD Japanの会員が独自の視点で解説しながら案内する「コレカライトアフターダークツアー」は、東京都内13箇所で催されました。ツアーを先導した照明デザイナーと参加者が、終了後にバーで照明談義をする時間も取られました。また、今回は、石井幹子氏が照明デザインを手がけた、レインボーブリッジ、東京ゲートブリッジ、東京タワーを、自身がガイドするという、スペシャルなツアーも行われました。

5

Seminar EL13 医療における最新照明の進化と動向

中岡 覚［伊藤喜三郎建築研究所 常務執行役員 プリンシパルアーキテクト］
増田 順［セントラルユニ 代表取締役］
Moderator : 松下 美紀［松下美紀照明設計事務所］

進化が著しい医療施設における照明デザイン。ドクターのための照明や、施設で働く人びとのための照明、また患者の心を癒す照明まで、照明デザイナーには幅広い視点が必要となります。そこで、現代のニーズや動向、光源の波長設計など最新の技術を駆使した光環境について、照明デザイナーをはじめ、医療関係者や建築設計者の光環境に対する意識の向上を目的に、さまざまな観点から話を進めました。結果として、「命を守るため」という医療の本質を理解した共通言語で、最新の光技術を語れたと思います。終了時には聴講者の感動が観取でき、「進化と動向」のテーマがより深化したことへの手応えがありました。また、医療関係者の参加も多く、医療施設の照明への興味が高まっていると実感しました。

Seminar EL14 地方創生とあかり

泉 英明［ハートビートプラン 代表取締役 都市計画家］
片岸 将広［日本海コンサルタント 社会事業本部 計画研究室 建設コンサルタント
金沢片町まちづくり会議事務局］
Moderator : 長町 志穂［LEM空間工房］

今日、もっとも重要な社会的テーマである「地方創生」について、各地の地域づくりで活躍するプロデューサーを招き、トピックに「地域の活力・魅力づくりの手法と極意」を掲げてレクチャーを行いました。地域活性化の手法やプロセスは地域によって異なり、多種多様です。そこに通底する要素として挙げられたのは、「能動的な担い手」「参加型のプロセス」「共働」でした。「あかりの役割」に関しては、照明が公共照明の整備に留まらず、地域の手づくりイベントなど、コミュニティの熟成に貢献できることが伝わりました。「地方創生」という言葉の向こう側にある、リアルで若々しい活動、パブリックデザインにおける「照明」および「照明デザイナー」の役割を認知してもらえる機会となったと思います。

Seminar EL15 シンプルな中に複雑さを得る — ダン・フレヴィンの創造性

アヌシャ・ムススブラマニアン［ライティングスペース 創立者・学校長］
Moderator : 岩井 達弥［岩井達弥光景デザイン］

照明デザイナーの職能が確立されていないインドの建築業界で、照明デザイナーとして第一線で活躍する、アヌシャ・ムススブラマニアン氏を迎えて、自身の手がけた空間を中心に話を聞きました。蛍光灯を用いた光の作品で知られるアーティスト、ダン・フレヴィンからインスピレーションを受けたという、倉庫を児童施設にしたリノベーション事例は、基本的な照明器具と色彩によって視覚的シークエンスを生み出すという、シンプルな手法でありながら、力強いメッセージを伝える独創的な試みでした。照明デザインの定着した日本において、私たちは色彩デザインに対し受身的に接することが多いですが、光と一体ともいえる色彩について、もっと詳しく学び、かつ提案していく必要性があると感じました。

1-5 | Event Report ENLIGHTEN ASIA IN JAPAN 2017

Seminar EL16 クラウドファンディングを活用した酬恩庵枯山水庭園ライトアップ

田邊 宗弘［酬恩庵一休寺 副住職］
Moderator : 原田 武敏［焔光景デザイン］

京都・田辺にある酬恩庵一休寺方丈の庭園は借景を活かした枯山水として知られます。同寺の副住職の田邊氏は、この庭園の借景の大切さを訴えたいと、クラウドファンディングを活用したライトアップを企画しました。その実現に至るまでの過程や光の手法について披露しつつ、支援者をいかに確保するか、資金の調達など、そのポイントや意識すべき点を伝えました。照明デザイナーとして関わり、企画段階からさまざまなことを語り合ったなかで印象に残ったのは、「お寺は人が集まる大きな箱のようなもの。大きく、多種多様なものを包み込む。そして、いろいろな縁をつなぐ。ここから新しいものが生み出されていくべき」という田邊氏の考え。これからのお寺と人との関係性を示しており、強く記憶に刻まれました。

Seminar EL17 ウエアラブルな光

柏原 エリナ［K-one space ライトモード アーティスト］
Moderator : 東宮 洋美［ライトスケープ・デザイン・オフィス］

「人と光の関係」をテーマに、照明デザインの「What's Next?」を探るセミナー。柏原氏は、建築とファッションの関係を切り口に、自身の作品「Wearable Light」について語りました。光源部（LED）と反射素材に頼らない発光素材の開発、人の動き、音声、脈拍、接触などを光に変換するシステム、それらを身につけた人の生命を光で視覚化したものです。終盤には光をまとったパフォーマーによるLight Mode Artショーが催され、その星空のような光とシルエットの表現には建築照明との共通点がありました。明るさ=豊かさではないと認知され、光に関する人の生理と心理も解明されつつあります。その能動的な関係が環境と光の密接さに重要であることを訴え、照明デザインに対する理解を高めていきたいと考えています。

Seminar EL18 LEDが完成した後の照明デザイナーの役割

アンドレア・ハートランド［ハートランド・ライティング・デザイン 代表］
ケバン・ショー［ケバン・ショー・ライティング・デザイン デザインディレクター］
Moderator : 近田 玲子［近田玲子デザイン事務所］

照明業界において、少し前まではどうすればLEDを効率的かつ効果的に使えるか、といった議論や開発ばかりがなされていました。今日においては、ありとあらゆるモノがインターネットに接続されて、モノが相互に制御するIoT化が叫ばれています。ところが、IT素材（制御、システム）の使い方が人びとに浸透したかといえば、否です。それらをどう使いこなすか、活用方法を考えるのが、照明デザイナーの使命でしょう。本セミナーでは、LED完成後の照明デザイナーの役割について、アメリカで活躍する照明デザイナー、イギリスで大きな存在感を示す照明デザイナーの考え方を明らかにして、互いに異なる考え方、重なる考え方を確認し合う場をつくりました。それこそがIALDの大きな役割と考えます。

Lighting GALA

Japan International Association of Lighting Designers
Enlighten Asia in Japan 2017
www.ialdjapan.jp

Enlighten Asia in Japan 2017の2日目のプログラムが終了した後、会場を東京・港区の印刷工場をコンバージョンしたスペース「TABLOID」に移して「Lighting GALA」を行いました。能をはじめ日本の伝統芸能やゴスペルなど数々のパフォーマンスでおもてなし。それらをいっそう盛り上げたのはライティングによる華やかな演出でした。2層吹抜けの気積の大きな空間がきらびやかな光で満たされたのです。500名もの来場者の熱気で会場のボルテージは上がり、パーティは夜遅くまで続きました。

Information

- 会場：TABLOID
- 主催：一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会
- 機材協力：岩崎電気株式会社、ウシオライティング株式会社、株式会社遠藤照明、カラーキネティクス・ジャパン株式会社、トキ・コーポレーション株式会社、日本フロス株式会社、パナソニック株式会社、マーチンプロフェッショナルジャパン株式会社、
- 演目スポンサード：株式会社遠藤照明、大光電機株式会社、マックスレイ株式会社

Lighting GALA

- 能：山本能楽堂・山本章弘
- トリオ：Sop.松本明子、Fl.生明麻衣子、E.Pf.原口沙矢架
- 三線：四谷琉球かなさんどー
- ゴスペル：Switch Of Voice.

After Party

- DJ&DANCE DIRECTOR：TSUN、DaiKi
- DANCER：CanDoo、YACHEEMI、MISUZU
- DJ：SEIYA

1-5 | Event Report ENLIGHTEN ASIA IN JAPAN 2017

1-5 | Event Report ENLIGHTEN ASIA IN JAPAN 2017

ENLIGHTEN ASIA IN JAPAN

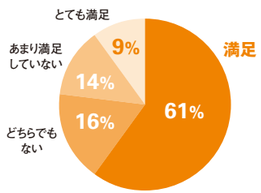
Enlightenは、IALD本部のある米国コロラド州ボルダーにてEnlighten Americasとして2000年より始まった国際的に活躍する照明デザイナーによる世界最高峰の教育とネットワークを目的とした啓発イベントです。IALD JapanはEnlighten Asiaの開催によって照明デザインの国際社会での地位向上と照明業界の発展と改革に必要な経験を得る場として、今後もより進化したプラットフォームづくりを推進してまいります。

1-6｜アンケート

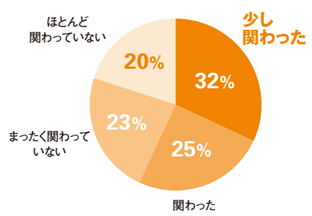
「Enlighten Asia In Japan 2017」イベント終了後、 協会会員にアンケートを実施し、多くの回答をいただきました。
貴重なご意見は次回以降に活用いたします。

※誌面の都合上、いただいたアンケート内容は、抜粋して掲載しております。

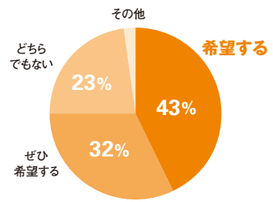
■ 満足度について



■ 企画運営に関わりましたか?



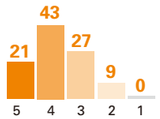
■ 次回の開催を希望しますか?



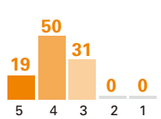
■ 各コンテンツごとの満足度について(5段階評価):単位%

5. 大変良い 4. 良い 3. 普通 2.あまり良くない 1. 良くない

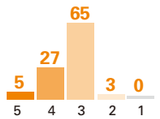
照明デザイン国際セミナー



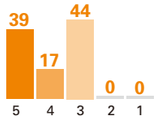
コレカライトスタジオ



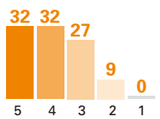
コレカライト展示



コレカライトステージ



GALAパーティ



会員のみなさまからいただいたご意見

海外の方を招くセミナーは多くの人が興味ある分野だと思います。ただ経歴やプロジェクトのプレゼンで終わるのではなく、照明デザイナーの役割などといった社会とのつながりに関わるお話だと、白熱した議論が進むと思います(実際に今回のセミナーでもありました)。そうした海外の方の生の意見を聞けるお話は業界全体の盛り上がりにもつながると思います。照明デザイナーたちが発する言葉には価値と希望が含まれているので学生ならずとも照明業界に従事する人の多くは望んでいるのではないかと思います。

-

理事会および企画運営のみなさま、すばらしく有意義な機会をありがとうございました。今回も短期間で多くのプログラムが同時進行し、参加できないものが多いのがとても残念でした。アイディアはありませんが、早めに時間を確保し、より多く参加したいと思います。

-

企画、運営に携わった方々に感謝いたします。

-

スライドが全部日本語だと同時通訳をしても日本語が読めなければ理解が追いつかず、海外からの受講者に不満が出ます。わざわざ東京まで行ったのにスライドが全部日本語でよく分からなかったとなれば不評が伝わるので、海外からの受講者は増えません。スライド作成者が英語を書けない場合は事前にスライドを提出させてIALD Japanで英訳担当者を用意して対応するという方法を採った方が良いかもしれません。

-

受講料をセミナー単位にすると受講できる数が減るので、各セミナーの受講者数が伸びづらいと思います。2日間すべてのセミナーが受講できて5000円などのパッケージを用意すれば、積極的にセミナーに参加しようとする受講者が数多く集まるのではないでしょうか。

-

PLDCのように良質のプレゼンテーションを集めるためには、タイトルだけでの選考ではなく、プレゼン内容をまとめたペーパーを事前提出させて、そこから優れたものを選択してはどうでしょうか。もしペーパーが十分に集まらないということであれば、魅力的な報酬を用意するか、優れたペーパーを提出した人を表彰するなど、多くの人がプレゼンテーターになりたいと思うような仕組みがあると良いと思います。

-

Asiaとしての特色をもっと出せるように、また日本の照明デザイナーたちがそれをリードしているというイベントになるよう企画していけたら良いと思う。まず国内へのアピール(具体的には国内メディアへの広報など)がもっと必要だと思う。

-

セミナーだけでなく、海外の方とも交流できるプログラムがあったらよいかも。

-

照明デザイナーの存在を関連業者だけでなく、広く、一般の方々に知っていただく機会とすることはできないでしょうか。そのための広告を出すことはできないでしょうか。建築設計に設備設計、インテリアデザインはプロジェクトに必要な存在として、一般に認知されています。しかし、よほどのデザインが要望される物件でないかぎり照明デザイナーの需要はありません。建築プロジェクトには、照明デザイナーが加わっていてほしいという一般認識、そういう考えが広く一般に波及していけばいいなと考えております。

-

セミナーが非常に充実していたので、また多様なセミナーを期待します。

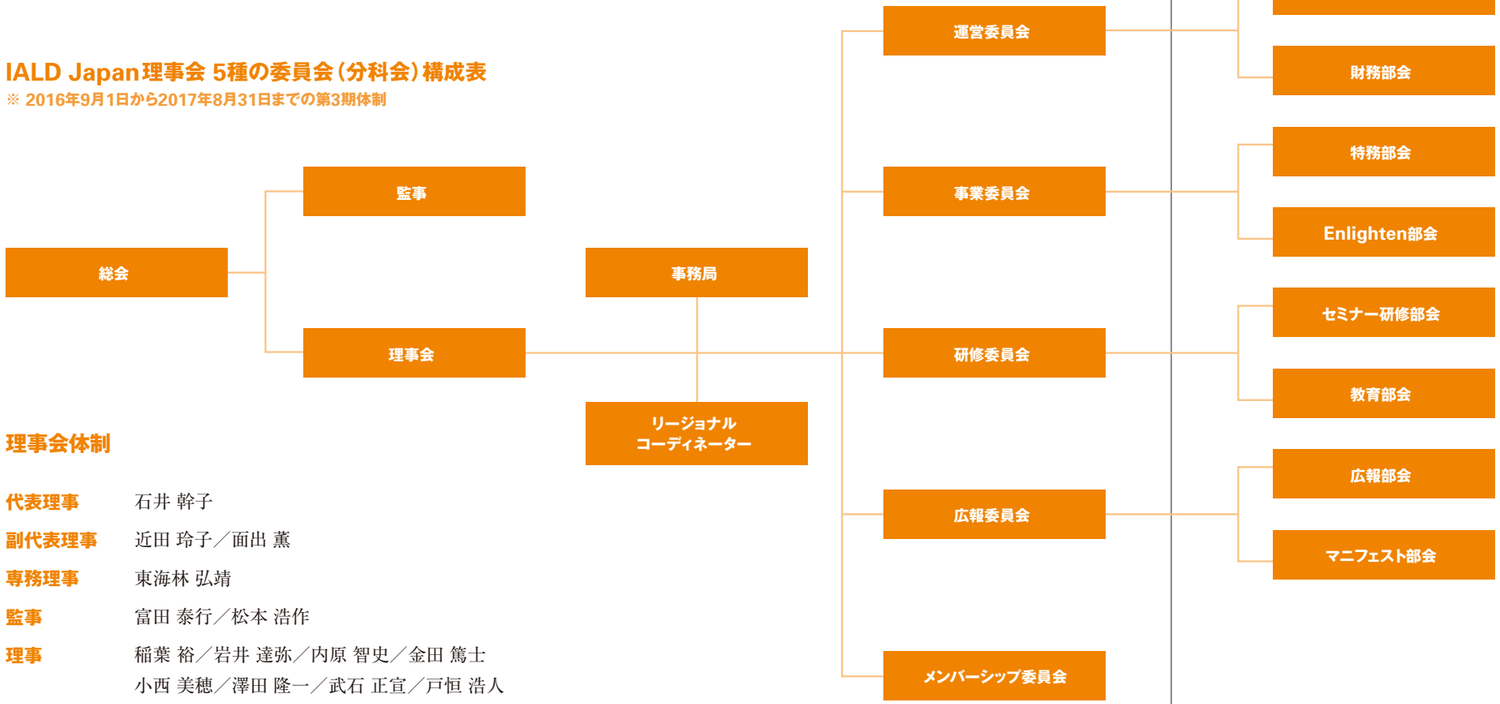
Chapter 02
組織運営

2-1｜委員会の概要

協会で実施するさまざまな活動の計画と実行を円滑に行うために、下記の5つの委員会と8つの部会を設置しています。
各委員会は、理事より選任された委員長と会員有志からなる委員によって組織しています。
委員長と各委員は年間の活動計画と実行予算を起案し、委員長は理事会においてその活動計画と予算の承認を受けたのち、滞りなく活動を実行します。
各委員会は年間の活動計画を互いに共有し、各部会に所属する会員と十分に連携することで活動全体を盛り上げるとともに、内外に適切に活動を告知するものとします。

IALD Japan理事会 5種の委員会（分科会）構成表

※ 2016年9月1日から2017年8月31日までの第3期体制



理事会体制

代表理事 石井 幹子

副代表理事 近田 玲子／面出 薫

専務理事 東海林 弘靖

監事 富田 泰行／松本 浩作

理事 稲葉 裕／岩井 達弥／内原 智史／金田 篤士
小西 美穂／澤田 隆一／武石 正宣／戸恒 浩人
内木 宏志／永島 和弘／中谷 太郎／長町 志穂
松下 美紀／山下 裕子
（50音順）

運営体制

事務局 瀧 ゆう子

リージョナルコーディネーター 東 悟子

運営委員会 協会の運営やマネジメントおよび財務全般を管轄します。また、協会の主な活動資源である協賛募集を計画的に行い、協会の経済的な活動基盤を万全のものとします。

事業委員会 2年に1度の「Enlighten Asia in Japan」を主としたイベントを実施するための社外調整を長期的に行い、イベント開催決定後にはイベントの内容を企画します。

研修委員会 外部または会員向けの研修プログラムを実施し、会員の意識と能力の向上を図ります。また学生向けの教育プログラムを実施し、未来の照明デザイナーを育てます。

広報委員会 Webサイトや会報誌（アニュアルレポート）を通じた委員会活動の広報を担います。また照明デザイナーとしてのマニフェストを起案し、必要に応じて公表する役割も受け持ちます。

メンバーシップ委員会 説明会開催やポスターによる会員募集等を通じた新規会員の獲得と、会員情報の適切な管理を行います。

事務局 国際照明デザイナーズ協会（IALD）本部とのやりとり、会員サポート、イベント開催に関する取りまとめや諸手続き、その他当協会運営に関するさまざまな業務を行います。

リージョナルコーディネーター 日本における会員活動のサポート、国際照明デザイナーズ協会（IALD）本部への活動報告、本部からの情報を日本の会員へ伝えるなどの役割を担い、日本での活動が円滑に進むようにIALD Japan事務局と連携を取りながら活動します。

Information

2017年12月1日より事務局が移転します

この度、IALD Japan事務局が下記住所に移転します。新事務所では、
会員との交流や照明デザインに関する情報交換の場として活用できるような場にしてまいります。

新住所
〒141-0022
東京都品川区東五反田 5-25-19 5F
tel：090-2658-1121 E-mail：info@ialdjapan.jp

2-2｜会員紹介

IALD Japan MEMBER LIST

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会 メンバーリスト［50音順］

★は新規会員

青木 千春	松下美紀照明設計事務所	http://www.mikilight.com
飯塚 千恵里	飯塚千恵里照明設計事務所	–
池田 俊一	ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
石井 幹子	石井幹子デザイン事務所	http://www.motoko-ishii.co.jp
石田 聖次	LIGHTSCENE	http://www.lightscene.jp
板倉 厚	ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
伊藤 達男	伊藤達男照明デザイン研究所	http://itoolight.on.coocan.jp
稲葉 裕	フォーライツ	–
岩井 達弥	岩井達弥光景デザイン	http://www.lumimedia.jp
上田 夏子	Nipek Pte Ltd	http://www.nipek.jp
内野 春佳	–	–
内原 智史	内原智史デザイン事務所	http://www.ucld.co.jp
遠藤 香織	Kaori Endo Lighting Design	http://www.kaorield.com
大好 真人	LIGHTDESIGN INC.	http://www.lightdesign.jp
岡本 賢	Ripple design	http://ripple-design.jp
岡安 泉	岡安泉照明設計事務所	http://www.ismidesign.com
小野田 行雄	イリス・アソシエーツ	http://iris-a.com
加賀美 鋭	GK設計	http://www.gk-design.co.jp/sekkei/
角舘 政英	ぼんぼり光環境計画	http://www.bonbori.com
金田 篤士	ワークテクト	http://www.worktecht.com
上村 悠	RAYDESIGN INC.	http://www.raydesign.jp
川端 章彦	dpa lighting consultants Japan LLP	http://www.dpalighting.com
河原 武儀	ライティング・コンサルタンツ・オフィス	–
久保 隆文	mantle design	http://mantle-d.com
窪田 麻里	ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
黒瀬 俊英	ワークテクト	http://www.worktecht.com
黒田 茜	LIGHTDESIGN INC.	http://www.lightdesign.jp
小西 武志	ALG（建築照明計画）	http://alg.jp
小西 美穂	ALG（建築照明計画）	http://alg.jp
小山 憲太郎	コヤマケンタロウデザイン事務所	http://koyamadesign.jp
澤田 隆一	サワダライティングデザイン&アナリシス	http://slda.co.jp
東海林 弘靖	LIGHTDESIGN INC.	http://www.lightdesign.jp
水馬 弘策	The Oval Design	–
菅原 千稲	フィラメント	http://filament.main.jp
鈴木 千穂	遠藤照明	http://www.endo-lighting.co.jp
瀬川 佐知子	ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
高山 直樹	松下美紀照明設計事務所	http://www.mikilight.com
武石 正宣	ICE都市環境照明研究所	http://www.ice-pick.jp/
田中 圭吾	ライトモーメント	http://www.lightmoment.jp
田中 謙太郎	ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
田中 康一	LIGHTLINKS INTERNATIONAL LIMITED	http://www.lightlinksltd.com
田中 裕美子	ゾネ	–
垂水 茂喜	RAYDESIGN INC.	http://www.raydesign.jp

近田 玲子	近田玲子デザイン事務所	http://www.chikada-design.com
東宮 洋美	ライトスケープ・デザイン・オフィス	http://www.ldo.co.jp
戸恒 浩人	シリウスライティングオフィス	http://www.sirius-ltg.com
富田 泰行	トミタ・ライティングデザイン・オフィス	http://www.tldo.jp
内木 宏志	ナイキデザイン事務所	http://naikidesign.com
永島 和弘	チップス	http://www.chipsss.com
中島 龍興	中島龍興照明デザイン研究所	http://www.h2.dion.ne.jp/~nakajima
永田 恵美子	ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
中谷 太郎	*CYPHER	http://www.cypher-d.com
永津 努	フェノメノン ライティングデザイン オフィス	http://www.phenon.jp
長町 志穂	LEM空間工房	http://www.lem-design.com
中村 元彦	松下美紀照明設計事務所	http://www.mikilight.com
野澤 寿江	近田玲子デザイン事務所	http://www.chikada-design.com
橋本 八栄子	MYNA Design & Craft Pte Ltd.	http://www.myna.com.sg
服部 祐介	ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
馬場 美次	馬場美次デザイン室	http://www.yoshiji.com
早川 亜紀	灯デザイン	www.toh-design.com
原田 武敏	焔光景デザイン	http://www.homura-lsd.com
東 悟子	ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
福多 佳子	中島龍興照明デザイン研究所	http://www.h2.dion.ne.jp/~nakajima
藤井 茂紀	Nipek Pte Ltd	http://www.nipek.jp
藤井 美沙	ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
真壁 智香	ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
★ 眞﨑 雅子	スタイルマテック	http://www.style-matec.co.jp
松下 美紀	松下美紀照明設計事務所	http://www.mikilight.com
松本 浩作	スタイルマテック	http://www.style-matec.co.jp
馬渡 秀公	マワタリデザイン	http://www.mawataridesign.com
村岡 治彦	村岡治彦デザイン事務所	http://www.muraokadesign.com
村岡 桃子	ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
村角 リーダー 千亜希	スパンコール	http://www.spangle.jp
目黒 朋美	トモルデザイン・メグロ	http://www.tomoru-design.co.jp
面出 薫	ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
森 秀人	Lighting M	http://www.lighting-m.co.jp
八木 弘樹	内原智史デザイン事務所	http://www.ucld.co.jp
★ 安田 真弓	–	
矢野 基世	ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
山下 裕子	ワイ・ツー・ライティングデザイン	–
山本 幹根	ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
彌吉 泉美	彌吉泉美照明デザイン	http://www.izu-lighting.com
吉野 弘恵	アカリ・アンド・デザイン	http://www.akari-d.com
吉村 美子	LIM LIGHTING DESIGN	–
綿貫 真由美	内原智史デザイン事務所	http://www.ucld.co.jp

2-3｜世界のIALDメンバー

世界で活動するIALDのメンバーをご紹介します。各国の活動は「ENLIGHTEN AMERICAS」
「ENLIGHTEN EUROPE」「ENLIGHTEN ASIA」のセミナーやさまざまなセッションによって情報交換が行われています。
日本は一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会の躍進によって、世界で2番目の活動国となりました。

※ 2017年10月現在

Over 1,359 members in 55 countries
Governed by 11 directors from 6 countries

2-4｜入会案内

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会では、新規の会員を随時募集しています。

■ 入会特典

入会された会員には、以下のような特典があります。

- 国際的な展示会への参加
- 協会が主催するシンポジウムやセミナー等への参加資格
- 照明デザインに関するさまざまな情報の共有
- 国際照明デザイナーズ協会（IALD）主催の「IALD AWARD」への応募資格

■ 会員種別

会員には以下の種別があります。

- 特別会員
- プロフェッショナル会員
- アソシエイト会員
- 退職会員
- アフィリエイト（賛助）会員
- ジュニアアソシエイト会員
- エデュケーター会員
- 学生会員
- 名誉会員

■ 会員資格

会員資格を得るには、米国の国際照明デザイナーズ協会（IALD）に
事前に加入する必要があります。

- 入会時に国際照明デザイナーズ協会（IALD）の会員資格を有していること
- 日本国籍を有する個人、または日本に在住する個人であること

詳しい手続きにつきましては、一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会 事務局まで
お問い合わせください。

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会（IALD Japan）事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田5-25-19 5F
tel: 090-2658-1121 E-mail: info@ialdjapan.jp
http://www.ialdjapan.jp

★2017年12月1日より上記住所に移転します

■ 入会までの手順

STEP 01 国際照明デザイナーズ協会（IALD）入会手続き ※英語サイト

STEP 02 審査・入会

STEP 03 日本国際照明デザイナーズ協会（IALD Japan）入会申込

STEP 04 理事会審査

STEP 05 入会

2-5｜第4期に向けて

今期の活動は、1年以上の時間を費やして綿密に企画が進められた、3回目となるEnlighten Asia in Japan 2017、企画構成を担うこととなったLIGHTING FAIR 2017のコラボレーションイベントの推進が協会活動の中心となり、文字通り魅力満載となりました。そうした多忙な中で3回の定時・臨時総会の開催や2回の研修会も実施しました。総会や研修会の場では、参加した会員間の熱の入った討論やコミュニケーションが取られ、会議後の懇親会では時間を忘れて照明デザインの展望に話が広がり、会員間の親睦と協調を高め合う楽しいひとときとなり、参加者はいつも次の機会を楽しみにして会場を後にしました。
2017年3月に開催されたLIGHTING FAIR 2017では、当協会が主催する多彩な18の照明デザイン国際セミナーの実施をはじめ、LEDや有機ELの先端技術を展示する照明メーカーとのコラボレーションイベント、会場を飛び出してのアフターダークツアーなど数多くの企画推進に活躍することとなりました。来場者からの反響も大きく、照明業界での当協会の存在感がさらに高まり、重要な立場となったことは誰もが認めることとなりました。これも多くの会員のみなさんの尽力の賜物と感謝いたします。今後は、活動の拠点や委員会の場をより充実させ、照明デザイナーの社会的な貢献を高めていく活動を目指して邁進したいと思います。

第4期 活動計画案

2017年

9月	理事会／監事および理事再任・定時総会の準備・会報誌最終校正
10月	定時総会／第3期 決算報告・第4期の活動計画・予算計画
12月	理事会／協賛活動推進

2018年

1月	理事会・臨時総会／内部研修会
2月	Web 更新
3月	中間収支報告
4月	各種委員会の個別活動
5月	理事会・臨時総会／内部研修会
6月	各種委員会の個別活動
7月	第3回 学生のための照明デザインセミナー
8月	収支報告・ 収支計画／次期活動・予算計画のまとめ

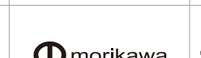
［協賛企業］

DIAMOND

PLATINUM

GOLD

SILVER



DIAMOND

株式会社遠藤照明
コイズミ照明株式会社
大光電機株式会社
パナソニック株式会社 エコソリューション社
株式会社モデュレックス

PLATINUM

岩崎電気株式会社
DNライティング株式会社

GOLD

ウシオライティング株式会社
株式会社KKDC-JAPAN
マックスレイ株式会社
三菱電機照明株式会社
株式会社ルーチ
ルートロンアスカ株式会社

SILVER

エイテックス株式会社
SD Lighting 株式会社
ERCO/ライトアンドリヒト株式会社
カラーキネティクス・ジャパン株式会社
KOYA JAPAN Lighting株式会社
株式会社電産企画
東芝ライテック株式会社
トキ・コーポレーション株式会社
株式会社FEELUX JAPAN
マーチンプロフェッショナルジャパン株式会社
株式会社森川製作所
株式会社YAMAGIWA
山田照明株式会社
株式会社ライティング創
株式会社LIXIL
ルイスポールセンジャパン株式会社

（50音順）

IALD Japan Annual Report Vol.03

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会［アニュアルレポート］

［発行日］ 2017年10月20日

［企画・監修・発行］ 一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会

［編集］ IALD Japan 広報委員会
［編集協力・デザイン］ 四ノ宮 篤史［LaFRANCE］
［編集協力］ 阪口 公子
［印刷・製本］ 三晃印刷株式会社

［発行・発行所］ **一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会**
★2017年12月1日より下記住所に移転します
〒141-0022 東京都品川区東五反田5-25-19 5F
tel: 090-2658-1121
E-mail: info@ialdjapan.jp
http://www.ialdjapan.jp